さわだ整形外科の理学療法(2020年3月)

さわだ整形外科　理学療法の紹介

- 理学療法士スタッフ構成
- 勤務体制

  2019.7月、中休みリハ開始でシフト制導入
- 患者特性
- 理学療法コンセプト
- 新人の業務拡大の流れ・目安
- 研修・勉強会

  2020年3月、JLCオンデマンド研修導入

理学療法士スタッフ構成

- スタッフ構成

  常勤4名（男性2名、女性2名、内新卒採用1名）

  非常勤7名（男性5名、女性2名）

  平均年齢：常勤のみ29歳、非常勤含む32歳

- **認定・資格など**

日本理学療法士協会　認定理学療法士（徒手理学療法）
3学会合同　呼吸療法認定士
福祉住環境コーディネーター2級

- **所属学会**

日本理学療法士協会
兵庫県理学療法士協会
日本徒手療法学会
日本徒手理学療法学会

チーフ理学療法士　　沖田　啓介

1日の主な業務の流れ(中休みが休憩の場合)

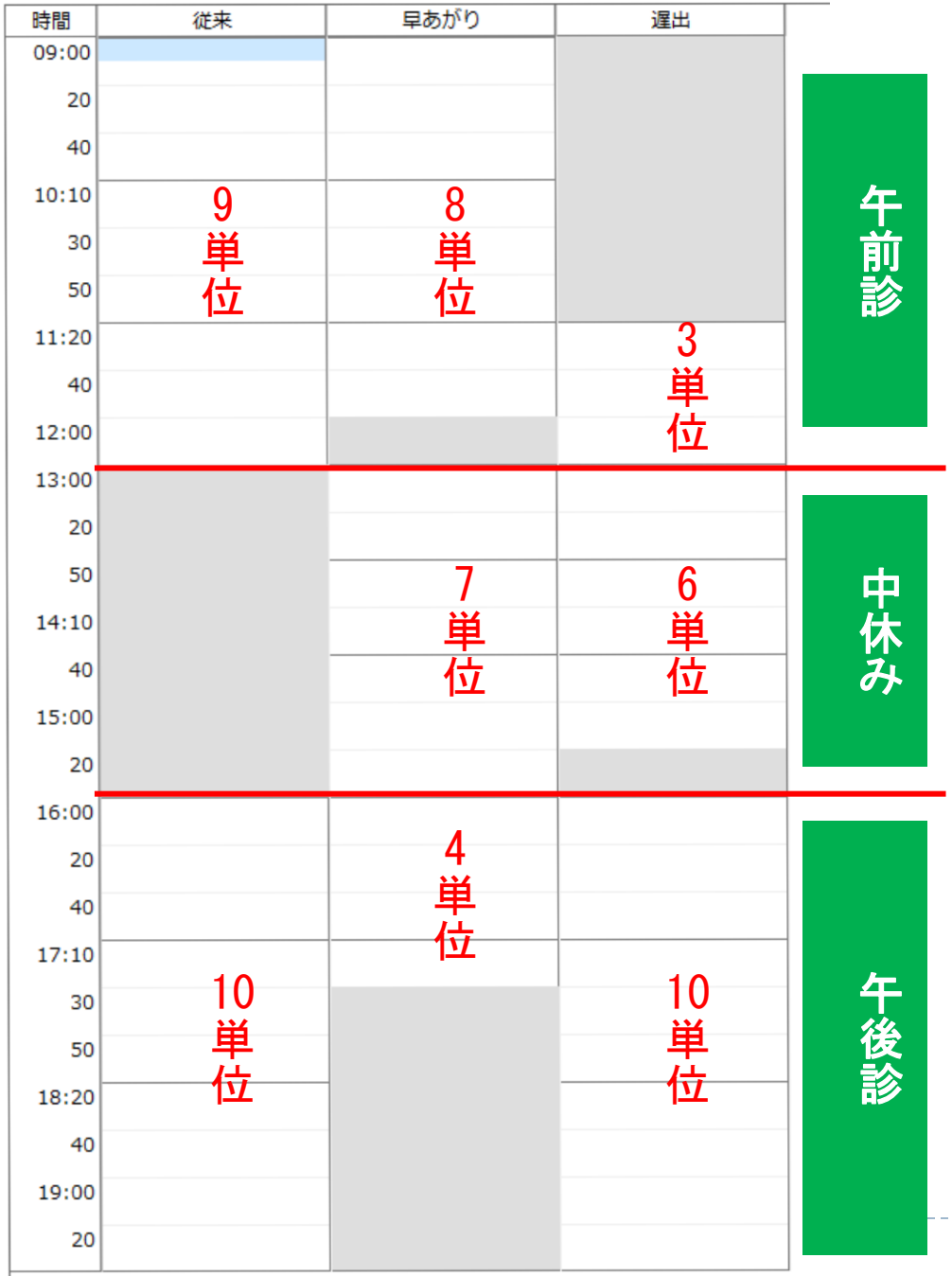
- **午前診**

  8:30～　出勤、着替え・カルテの確認
  8:50　朝礼
  9:00　診療・リハビリ開始
  12:20　リハビリ終了、片付け・カルテ記載
  12:45～13:00　カルテ記載後、昼休み

- **午後診**

  15:30～　出勤、着替え、カルテ確認
  16:00　診療・リハビリ開始
  19:40　リハビリ終了、片付け・カルテ記載
  19:45～20:15　カルテ記載後、退勤

※　水・土は午前診のみ
　　訪問リハビリは現在沖田のみで実施。将来的に希望している方歓迎！



2019年7月より月・木・金は中休みリハを開始！（概ね一通りの疾患が診れるようになってから勤務）

・従来

8:45～12:45、15:45～19:45

休憩12:45～15:45（3時間）

・早上がり

8:45～12:00、13:00～17:45

休憩12:00～13:00（1時間）

・遅出

10:45～15:00、16:00～19:45

休憩15:00～16:00（1時間）

●どの勤務も8時間勤務で最大19単位の患者さんを診る

業務効率化のためのリハビリシステム

- 電子カルテ使用（院内に9台設置）
- 予約制でリハビリ介入

  1日最大19単位（1単位20分）

  1単位or2単位で介入。1単位の患者さんが多い

  外来リハの特性上、雨天や体調不良等によりキャンセルがあるため、**平均15～16単位**

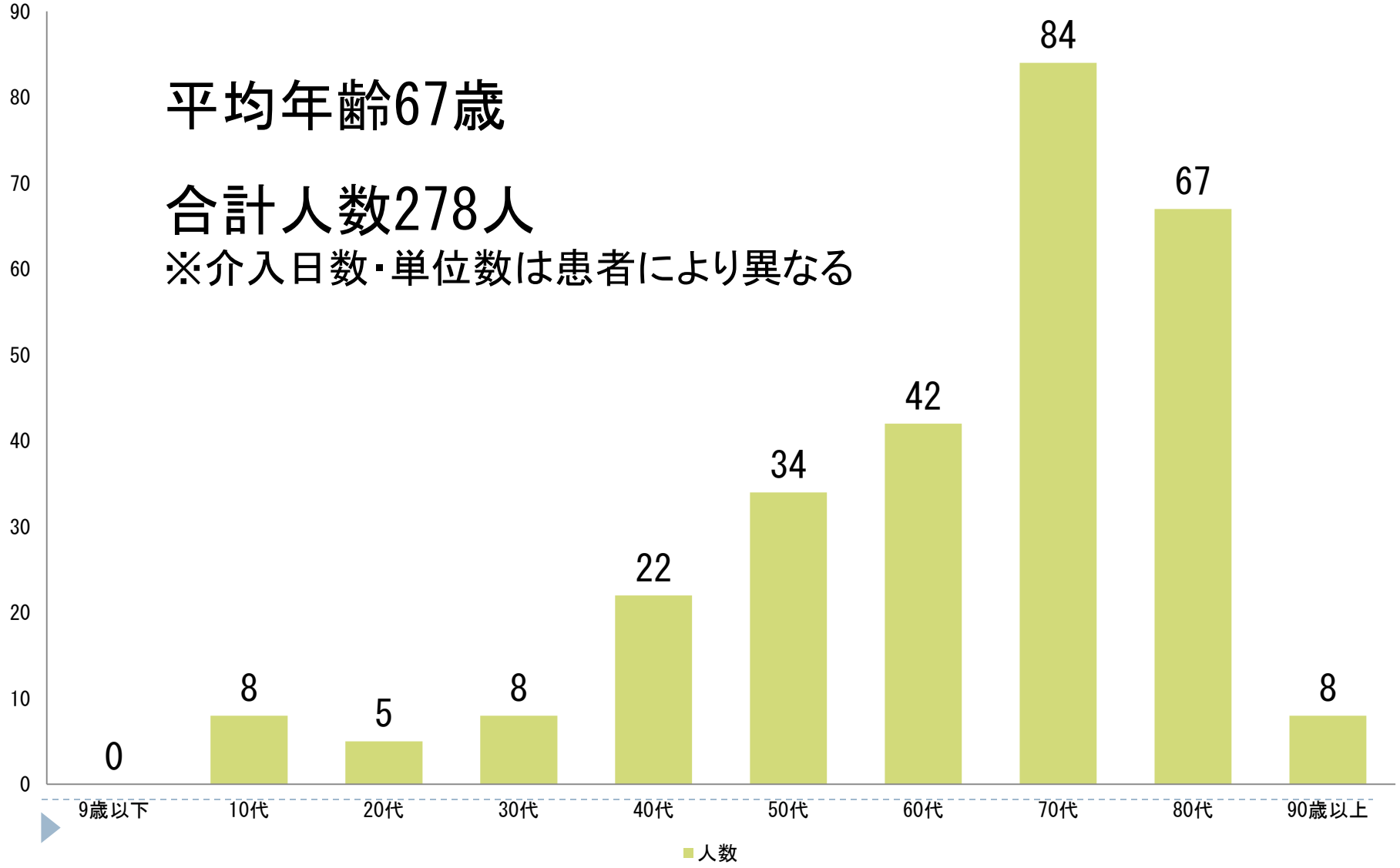
  また1人のPTにキャンセルが多発している場合、他のPTと患者数を調整し、皆が概ね同単位数になるよう調整している
- 物理療法の患者さん、リハビリの予約業務は、リハ受付スタッフにお願いしている
- 残業時間は**月平均10時間程度**（後述するリハビリカンファレンスも含む。全て残業扱いとなる）

その他業務

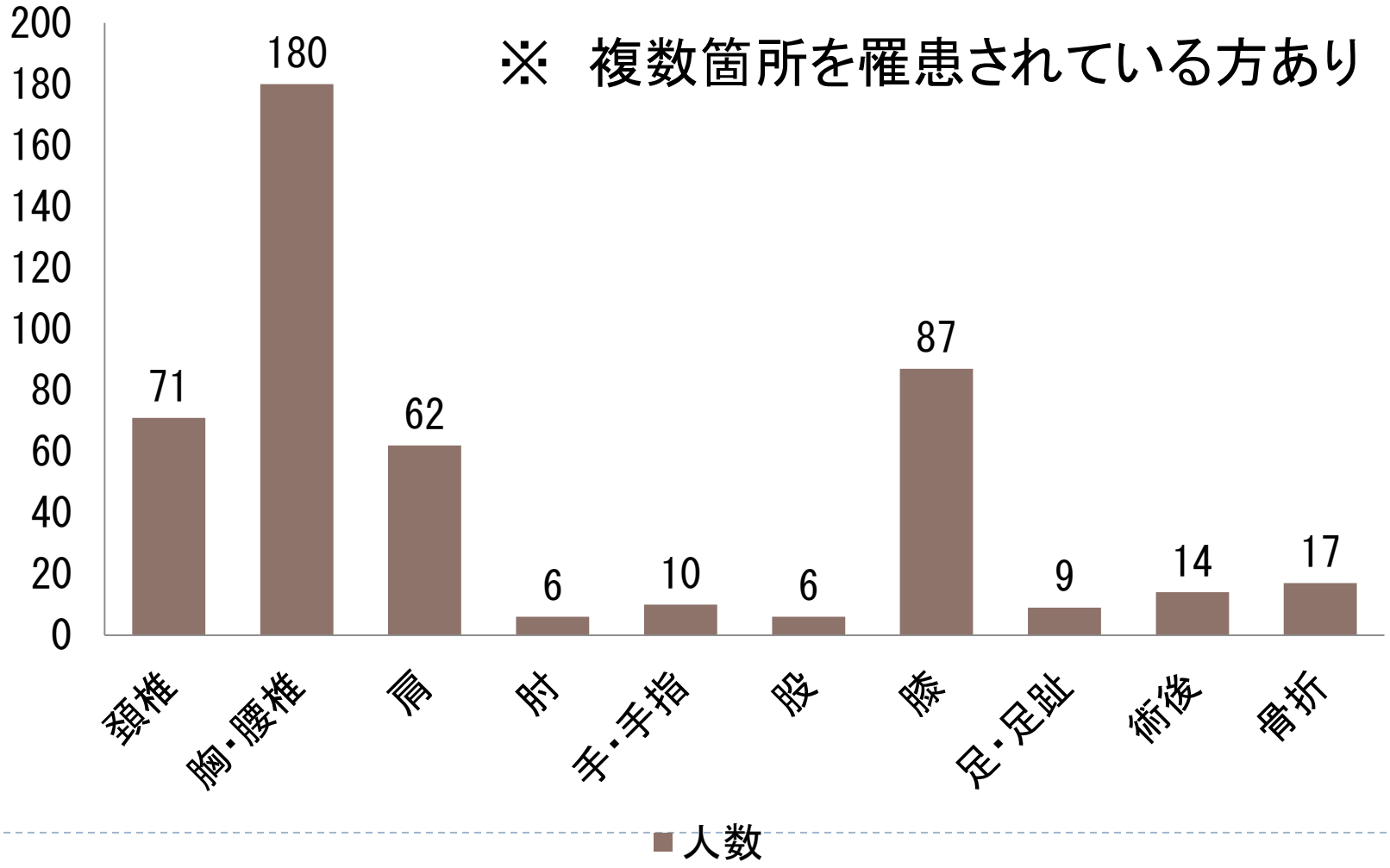
- 松葉杖指導
- リハビリカンファレンス（月1回、土曜日）

  診療終了後、12時半頃から1時間程度（残業扱い）
- 消防訓練（半年に1回、ローテーション）
- 診察券や説明用の資料など、院内で手作りしている物の作成・印刷・修正
- 当院ホームページの簡単な修正作業

理学療法患者①年齢層分布（2018年9月）



理学療法患者②疾患分布（2018年9月）



理学療法患者③疾患別

- 高齢者の整形外科の慢性疾患が多い

  変形性関節症、腰部脊柱管狭窄症など
- 学生のスポーツ障害（野球肘、シンスプリント、オスグッド病）も若干名いる
- 近隣病院からの術後フォローもある

  TKA術後、アキレス腱断裂術後、LCS術後など
- 2018年9月より訪問リハビリを開始（現在は利用者数が多くなく、沖田のみで実施）。携わることになれば、脳血管障害等、**整形外科疾患以外**も介入していくことになる

理学療法コンセプト

- 当院の理学療法コンセプトとして、特に何かの手技・コンセプトをしないといけないということはありません
- 運動療法、徒手療法、生活指導、自主トレーニング指導を必要に応じてまんべんなく行うことにつとめています
- 臨床推論（クリニカルリーズニング）を行いながら治療を進めることを目標としている
- 理学療法のみでの改善が難しいと判断した場合、医師と連携をとり、内服の切り替え、関節内注射の導入の必要性等、他の治療方法も検討する

新人の業務拡大の流れ・目安

- 4月は見学・模倣を中心、5月以降も介入時間外は同様
- 疾患別理学療法の研修・練習を徐々に実施
- 患者人数・単位数は徐々に増やす

目安

月	4	5	6	7	8	9
単位数	～8	10	12	14	16	19

※　4月は免許到着時期による

- 疾患・重症度は徐々に増やす

(1)軽度患者⇒重症・リスクのある患者

(2)対応する疾患の順序

目安：腰・膝⇒軽度の肩・頚部⇒その他疾患

研修・勉強会①

●院内研修

- 月1回のリハビリカンファレンス（土曜、診療後）
- 外部へ依頼しての薬物療法の研修会（月に1～3回）
- 月１～2回、火曜の中休みにPT同士での勉強会
  動画研修の実技練習、症例検討、ハンドリングの練習、伝達講習など

●院外研修

- PT協会年会費支給（2万＋税）
- 外部研修への参加推進

平日・土曜の研修も有給にて参加可。内容は少し検討しますが、1週間などの長期の研修も推進します

- 院長が参加される整形外科学会学術大会へ同行でき、参加費全額補助

●個人での研修材料

- 「メディカルプレス　月刊　理学療法」年間購読（貸出可）
- 2020.3月より、外部の動画研修導入

研修・勉強会②　動画研修詳細

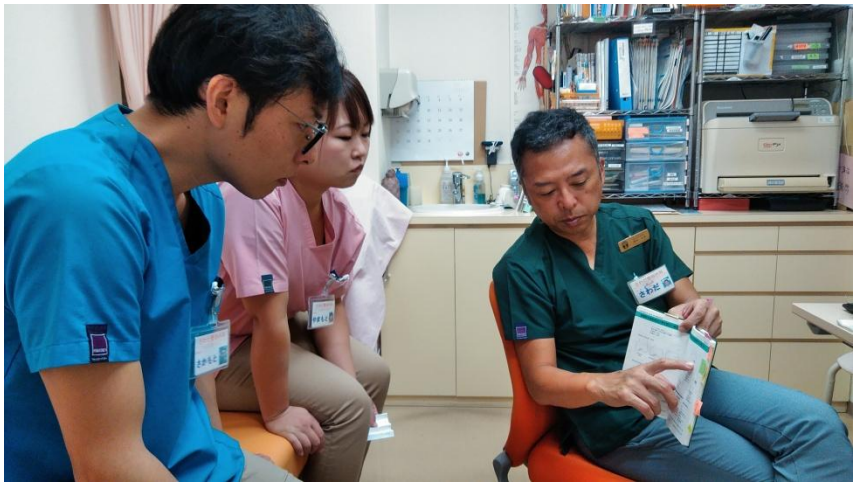
- 2020.3月よりJLCオンデマンド医療見放題コースを導入
  https://www.jlc-ondemand.com/medicals/

JLCオンデマンド「医療見放題コース」

近年、セラピストの学習ツールは多様化し、動画学習も一般的なものになってきました。 ジャパンライムでは長年にわたりセラピスト向けの映像コンテンツを制作し、 動画配信にもいち早く取り組んでまいりました。
そんなジャパンライムだからできる、質・量ともに充実した動画配信コース。
それが「医療見放題コース」です。

- 院外でも空き時間や移動中にスマホやPCで研修出来る
- 動画研修の内容について一緒に実技練習を行い、動画研修がより身に付く

リハビリカンファレンス風景



・月1回・土曜日に実施

・医師へ相談したい担当患者を挙げ、症例検討を行います

・画像所見や検査結果、治療方法などを検討します

第32回日本臨床整形外科学会学術集会参加

ＰＴ同士での勉強会風景

関節モビライゼーションの練習風景

皆さんのご応募をお待ちしております